

# 魔法のプロジェクト 成果報告会

---

千葉県立東金特別支援学校

押塚 雄史

# 東金特別支援学校



ようせい  
妖精 **ヤーモン**  
学校のシンボル  
やまももの木に  
すんでいます  
『やまもも祭』  
であえるモン  
(\*^\_^\*)

学校のHPへ → 県立特別支援学校一覧 →

電話	0475-52-2542
学部	小学部・中学部・高等部
寄宿舎	現在29人が入舎しています
障害種	知的障害
交通	東金駅より徒歩25分

## 学校の特徴

### <健康・安全教育の推進>

「地域・保護者と連携しながら一人一人を大切にする防災教育」  
『ぼうさい甲子園』5年連続受賞

25年度は高校生部門で「大賞」

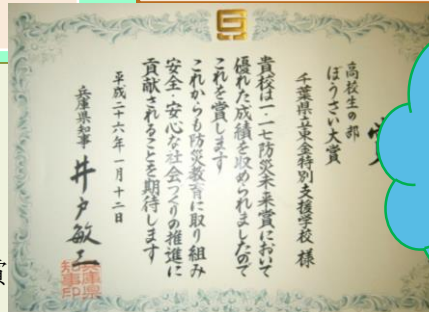
中学生・高校生による全国防災会議にも参加

### <校歌>作詞・作曲 はなわ

大空まで響く 明るい笑い声は  
輝く目 光る汗 ワッハッハ  
東金特別支援学校  
日の出のようにゆっくりと  
最後まで あきらめない サンサンサン

### <めざす児童生徒像>

自立をめざして かがやく瞳 ひかる汗



NHKシンサイミライ学校  
「私たちは一人じゃない」  
で紹介

## 防災教育を日常活動に進化

### 全校児童生徒集会①で「交通・防災集会」(5月)

- ・他学部間の姉妹学級でコミュニケーション 共助
- ・劇やクイズで知識を覚えやすく 自助
- ・あたりまえ体操/COWCOW(防災バージョン) 身体で覚える ※楽しく防災を学ぶ!

### 頭を守ること調査 (PDCAサイクル)

- ・火災想定避難訓練(4月)
- 評価:児童生徒が自分で、あるいは指示等で防災頭巾やヘルメットをかぶった?
- ・地震火災:同じ調査を実施し比較 振り返る
- ・地震津波想定避難訓練(9月10月) 想定避難訓練(6月)



### 体育で防災安全学習

- ・指示や支援(教材)で「できるわかる 自分から」・皆と一緒に行動・使ったものは片付ける

## 防災をテーマとした地域との交流

日常生活の指導で「帽子をかぶったまま」「すばやく靴をはく」こと等もあたりまえ防災

そのI (7月) 主催:PTA



- ・福祉的避難所開設
- ・地域の方と卒業生と炊き出し
- ・生徒会を中心に「防災ウォークラリー」を開催
- ・「あたりまえ防災」を紹介

### そのII (12月)

主催:高等部 地域の公民館で文化発表会

- ・地域の長寿会より 城西国際大学生より 学校より
- 最後に「あたりまえ体操」をみんなで♪

# 1. 17防災未来賞 ほうさい甲子園 表彰式・発表会



- ・23年度 だいじょうぶ賞
- ・24年度 高校生部門 奨励賞
- ・25年度 高校生部門 大賞
- ・26年度 高校生部門 奨励賞
- ・**27年度 だいじょうぶ賞**

◎**5年連続の受賞!!!!**

# 事例生徒について

- 高等部3年生（高等部より本校に入学）
- 知的障がい＋ADHD傾向
- 授業中教室を抜け出す
- 活動に参加できない
- 1年生では毎日遅刻
- 就職を希望←実態に合っていない

# 事例生徒について

## 苦手なこと

- 過去の失敗経験から、自己肯定感が低い
- やり遂げる前に諦めることがある
- 認めてもらいたいという気持ちがあるが、人前に出ることは苦手

## 得意なこと

- ◎防災について関心がある
- ◎消防・救急車・避難所などの知識がある。

## 事例生徒の興味・関心

本校の特徴である「防災」と  
防災分野ではまだ開拓途中である iPad



**iPadを防災ツールとして活用し、  
取り組みについて友達に紹介することで  
自信をつけるきっかけとならないか**

テーマ

---

iPadを

防災ツールとして活用し  
自己肯定感を高める

# iPadを防災ツールとして活用する！

## アプリ「守るリュック」の活用



- 防災や震災時に必要な知識を身に付けたり、いざとなったときにヘルプカードの代わりにもなる。




- 自分のことに関心を持ち、自身を見つめるきっかけとなる。
- 自分をありのままに理解してもらうことは、災害時に生き延びる上で大事な土台となる。



# アプリ「守るリュック」の活用

自分（苦手なこと）についてはスラスラと記入

SoftBank 3G 10:16 100% 10:14 100%

 もどる

できる・できない **まもるリュック** できる・できない **まもるリュック**

んは

大嫌いなことは

苦手なこと

2015年9月10日21時46分

2015年10月5分

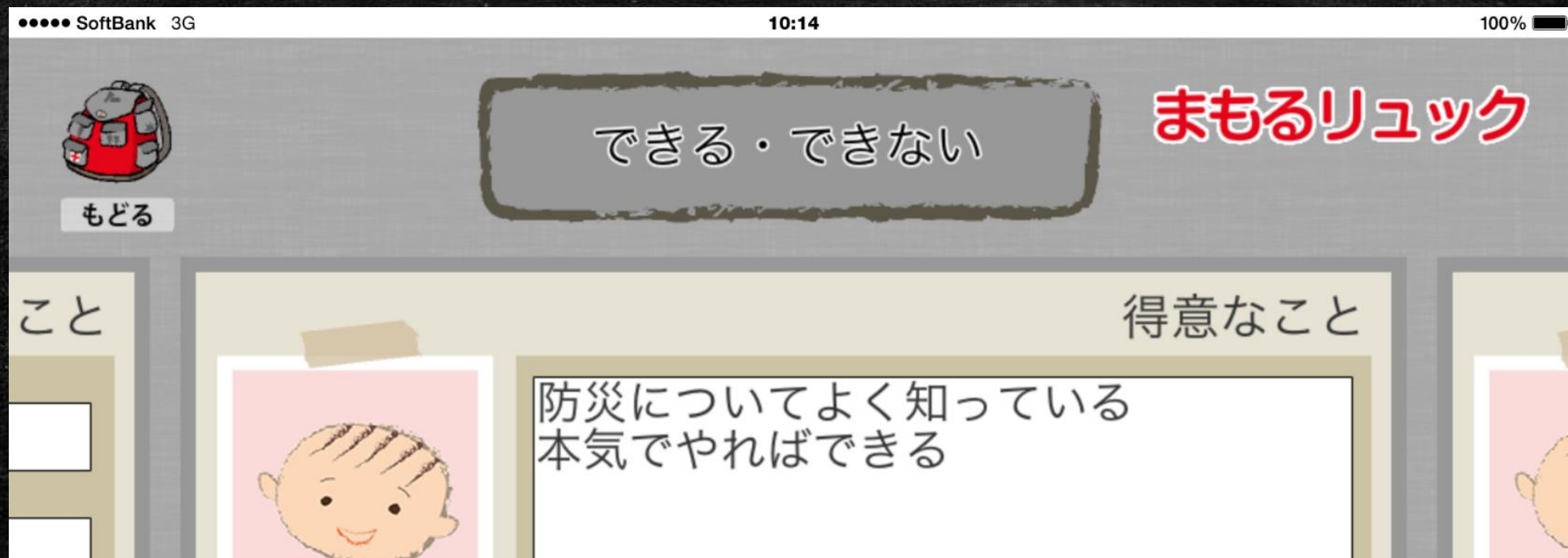
2015年10月5分

<input checked="" type="checkbox"/>	大きな音	<input type="checkbox"/>	動物
<input checked="" type="checkbox"/>	まぶしい光	<input checked="" type="checkbox"/>	におい
<input type="checkbox"/>	たくさんの人	<input checked="" type="checkbox"/>	触られること
<input type="checkbox"/>	暗いところ	その他	
<input type="checkbox"/>	広いところ	人が騒いでる声 うるさい人	

牛乳が飲めない  
運動  
相手に思いがうまく伝わらない

# アプリ「守るリュック」の活用

4月 得意なことは・・・ありません  
9月 同じ質問に答えは？



# アプリ「守るリュック」の活用

災害時に必要な知識を  
得るだけでなく

自分自身について  
知る機会となった

The screenshot shows the 'まもるリュック' (Mamoreru Ryukku) app interface. At the top, there's a status bar with 'SoftBank 3G', '9:21', and '97%' battery. Below the status bar, there's a red header with a train icon and the text 'もどる' (Return) and 'まもるリュック' (Mamoreru Ryukku). A grey button labeled 'じぶんのこと' (About Me) is visible. The main content area is titled '緊急避難場所' (Emergency Evacuation Location) and contains three sections of instructions:

- 家にいる時** (When at home): まずは頭を守る。防災リュックをもって避難場所や一時避難所へ。  
外に出て、みを、守る  
近所の福岡小学校に避難する  
高台に避難する
- 外にいる時** (When outside): 津波が来るなら高いところへ、家族に連絡するよりも一番近い避難場所や一時避難所へ。  
倒れて来ない場所に避難する  
自分の身を守る
- 学校や幼稚園にいる時** (When at school or kindergarten): まずはその場にいる。あとは大人の指示にしたがおう。  
外に避難する  
自分の身を守る  
物が落ちてこない場所に避難する

At the bottom of the page, there are two green pencil icons with the text 'きにゆう・へんこう' (Evacuation) and 'きにゆ' (Evacuation).

# iPadを防災ツールとして活用するII



- 持ち運びしやすい
- カメラ機能⇒その場で写真が撮れる
- GPS機能⇒現在地がわかる  
写真を撮ったところに“ピン”が立つ
- 地図アプリ⇒撮った写真にメモをつけて  
地図上に貼ることができる



⇒防災マップ作りにも最適



# iPadを防災ツールとして活用する!!



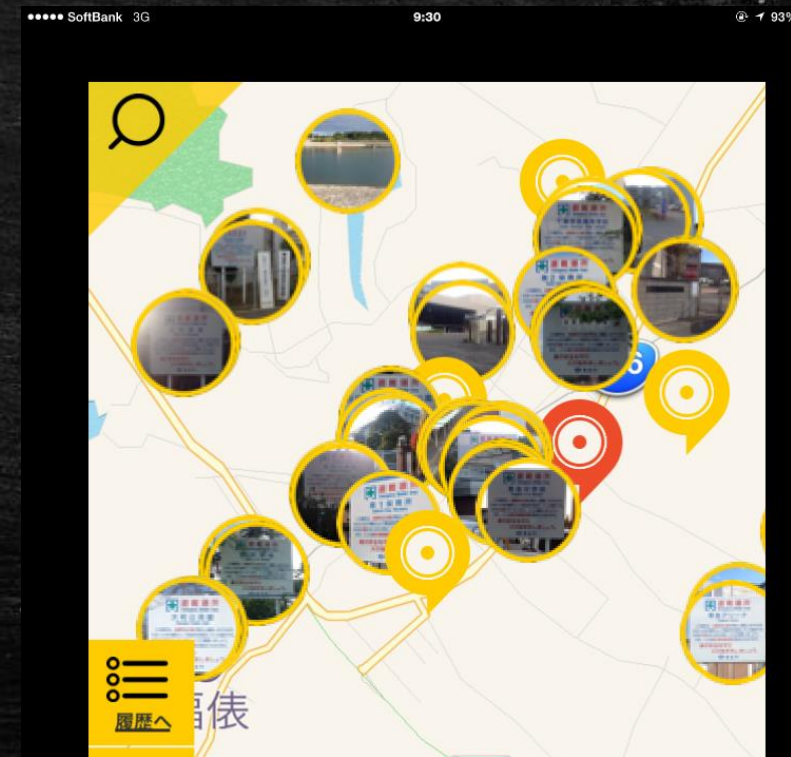
◎防災マップ作りには、地図アプリ「マップモ」を使用

地図上の地点を長押しして、写真を撮ったりメモを記入したりできる。

近隣の避難所や、危険箇所を撮影  
& 気付いたことをメモ



撮影とメモを積み重ねることで  
「自分だけの防災マップ」が完成!!



# 防災マップの活用

- ・自転車での下校時に自分で作った防災マップを使っての「**帰宅訓練**」を実施

例 「川の増水に警戒して帰宅」

「土砂崩れにより〇〇地区を避ける」



# 生徒の気持ちに変化が...

## 取り組み I



大きなマップを  
校内に貼りたい

## 取り組み II



みんなの役  
に立ちたい

自分のやっていることを  
知ってもらいたい

# 防災マップの発展

- 事例生徒の「自分が作ったマップでみんなの役に立ちたい」という気持ちを大切にする為に、大きな防災マップ作りに取り組む

⇒アプリを拡大・・・ではなく

みんなが見やすいように工夫

i P a dの地図とメモを参考に手作りで。

生徒会と連携、全校集会で発表もしたい



# 東金市防災マップ

～地震・津波・大雨・洪水  
・交通事故・不審者  
情報マップ～



生徒が iPad で撮影してきた写真を  
マップに貼付  
危険区域や注意を呼びかけたい箇所に  
メモをつける。

⇒ 生徒作成の防災マップの  
「メモ」を参考に

# 防災マップの発展



# 全校集会での発表



## 生徒会と一緒に全校生徒の前で堂々と発表

「僕はiPadで撮影しながら防災マップを作りました。避難所の写真をマップに貼ってあります。東金地区は大雨による浸水のエリアが広いのでマップで確認して下さい。その他にも気を付けてほしいことをメモで貼ってあるので見て下さい」



**自分の活動に自信をもち、初めて全校生徒の前で発表をすることができた。**

# 全校集会での発表



色々な人に見てもらいたいという  
思いから、校長室前に掲示。

**「貼るまで  
責任をもってやりますよ」**

本人感想

「いろいろな人に見てもらえてよかった。  
〇〇先生にも褒めてもらえて嬉しかった。  
東大でも発表したい」

# 防災の発表を終えての変化

## 「得意なこと」の項目が増えた！！

12月（全校集会発表後）

9月（自分だけのマップ完成後）

得意なこと

防災についてよく知っている  
本気でやればできる

得意なこと

防災についてよく知っている  
本気でやればできる  
きんちょうしないで発表できる  
自分で決めたことはやる（できる）  
防災について人に教える

# 防災の発表を終えての変化

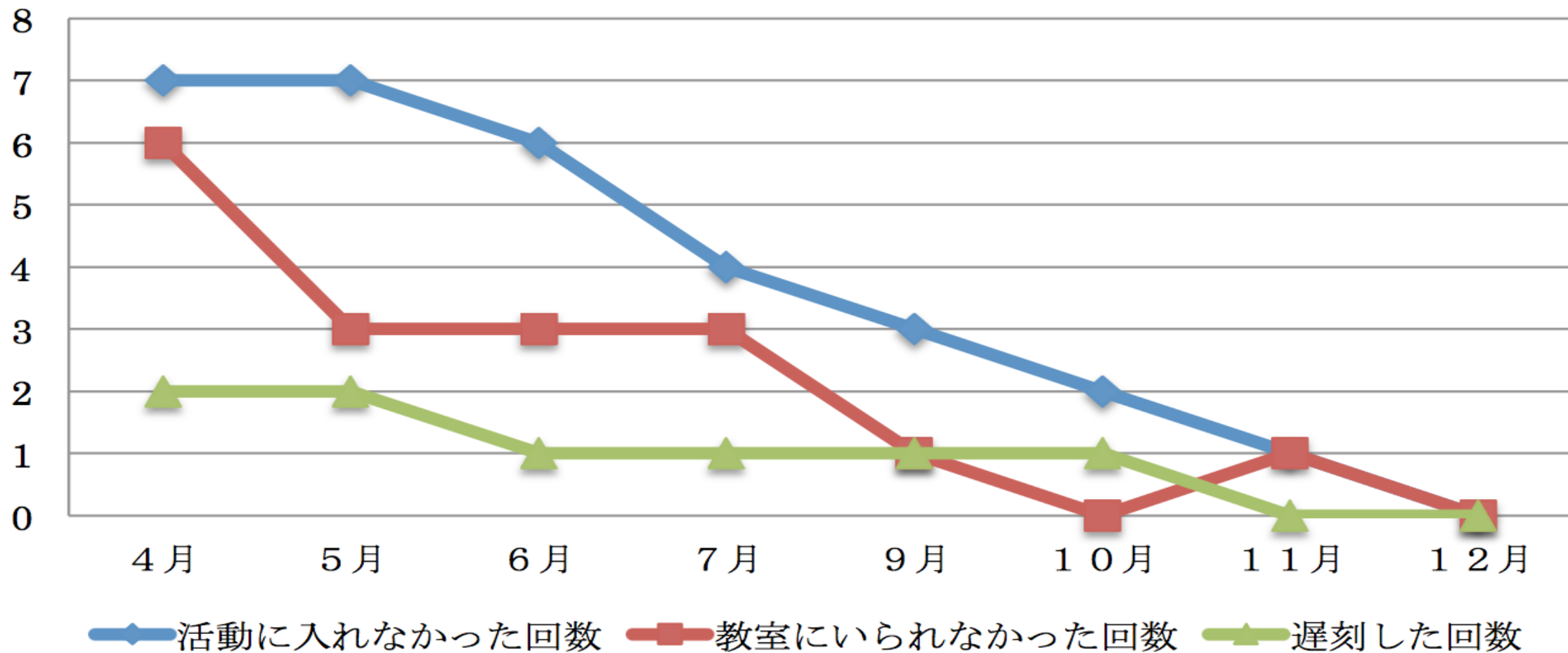
自分から、ぼうさい  
甲子園の掲示物作りを  
手伝ったり

防災をテーマとした地  
域との交流での司会に  
立候補したりした



# 防災の発表を終えての変化

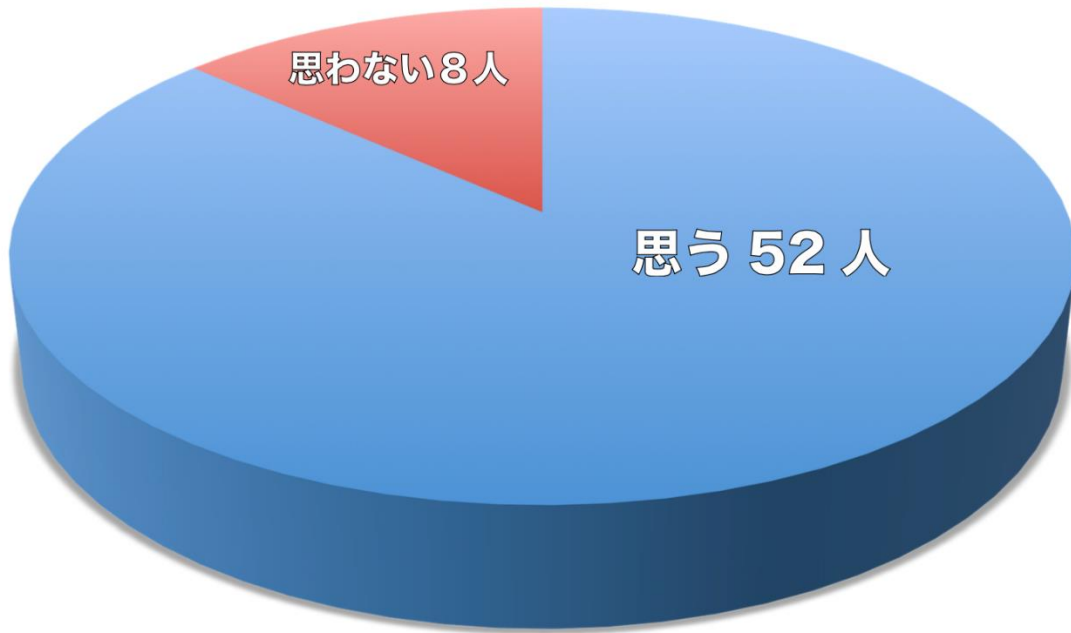
## 行動の記録



# 防災の発表を終えての変化

## 周りの生徒・先生方から見た事例生徒の変化

「iPadを使用するようになって変化したと思うか」



＜生徒の意見＞ ケートより抜粋～

- ・活動に入れるようになった。
- ・遅刻しなくなった。
- ・嫌だと言わなくなった。
- ・勉強熱心になった。

＜教員の意見＞

- ・主体的に活動できるようになった。
- ・人の意見に耳を傾けることができるようになった。
- ・前向きな発言が増えた。
- ・自分の気持ちを言葉にして、人に伝えられるようになった。



# Aさんの進路について

入学当初から職種を問わず「就職」を希望  
⇒他者の目から見れば実態に合っていない

清掃の仕事がしたい

今の自分には  
訓練が必要

11月になって

就労移行支援事業所を**自ら選択**

⇒今の自分を知り、やりたいことについて  
前向きに、明確に考えることができた

# Aさんの進路について

---

Q なぜ「清掃」なのか・・・

A この街が好きで

この街をきれいにしたいから

⇒防災活動をすることで

自分のことも、住む街のことも好きになれた

# 反省・今後の課題

本校の防災教育の取り組みと、事例生徒の興味・関心がマッチし、**防災に関わる活動を続けることが、生徒の自信につながった。**

自分について知り自分を大切にする（命を守る）

⇒**防災教育の視点でもある**

**卒業後も個性・特技を大事にしてほしい**

# 反省・今後の課題

## i P a dがあったことで

- 撮影・位置の把握・記録が同時に行えた
- 記録を積み重ねることができた
- 自分の変化を追い、  
自分で気付くことができた



# 反省・今後の課題

スマートフォンやiPadなどのタブレット機器が  
防災ツールとしても有能であることを示していきたい

⇒ **防災も携帯しましょう**

掲示用防災マップ作りでは、iPadを手がかりとして  
作成した

⇒ **ダウンロードできる形で地域にも還元できたらいい**

---

ご清聴ありがとうございました

